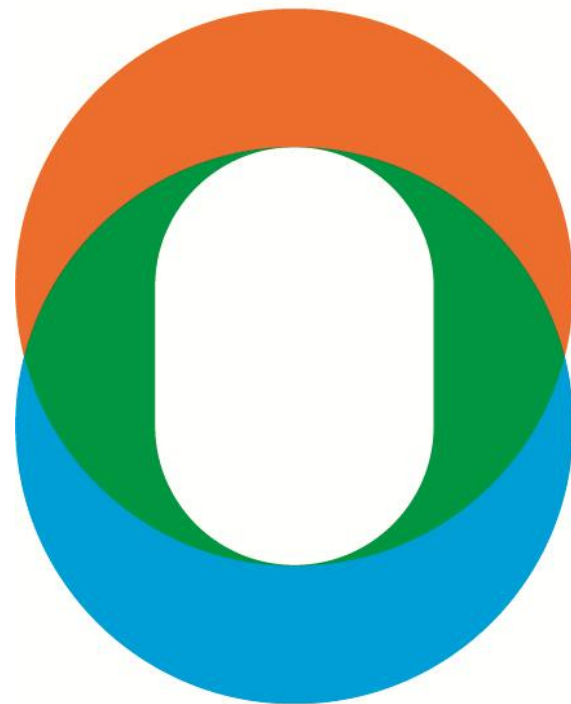


令和8年度第1回
世界に誇れる
環境先進都市
かめおか協議会

令和8年5月8日（金）

ともに生きる



プラごみゼロ

令和7年度の取組について（報告）

- 環境プロモーションセンター事業について
- サーキュラーフェスの開催について
- サッカー台のプラスチック製袋適量利用の呼びかけについて
- めぐるステーション（吉川町自治会）の開設について
- 第4回かめおか環境賞について
- 情報発信事業について
- 2030年に向けた企業等との取り組み

環境プロモーションセンター事業について



サーキュラーエコノミーを推進する めぐるひろばプロジェクト

ヒト・モノ・環境がめぐり、つながる社会の実現に向けて「環る(めぐる)」=“∞”から連想する毎月8のつく日に下記のイベントを定期開催。

地域住民が「捨てない暮らし」を楽しく学ぶ場であり、消費者の行動変容を促す「リビング・ラボ(生活実験場)」として始動中です。

8日

めぐる環(わ) 物々交換市

各家庭で不要になった物を持ち寄ってリユースにつなげます。毎月持ち寄り品のテーマが変わります。



18日

グリーンラーニング プログラム

プラスチックや古着のリサイクル過程を体験できるワークショップなど多彩なプログラムを実施しています。



28日

リペアカフェ

少し直せば使えるような日用品を持ち寄り、参加者同士が助け合いながら修理する新たな交流のかたちです。



環境プロモーションセンター事業について

亀岡発🌐環境紙芝居 ～あゆまるくん 海へ行く～



いまや世界で大きな問題となっている海洋プラスチックごみの課題や取り組みを子どもたちに分かりやすく伝えるには、「難しい説明」ではなく「心に届く体験」が必要と考え紙芝居を制作。

子どもたち自身が環境を学び、絵を描き、言葉を考え、一つの物語として完成させました。
亀岡市の公式Youtubeチャンネルからいつでもご覧いただけます!!



かめおかサーキュラーフェスの開催について

市制70周年記念事業の一環で「かめおかサーキュラーフェス」を開催。

【ワークショップ】

- ①端切れサコッシュづくり(35名参加)
企業・家庭から出る端切れを活用。
紐はHOZUBAGの協力でパラグライダーの素材を使用。
- ②再プラビーズアクセサリーづくり(80名参加)
ペットボトルや海洋プラスチックから再生したビーズを使ってキーホルダーを作成。



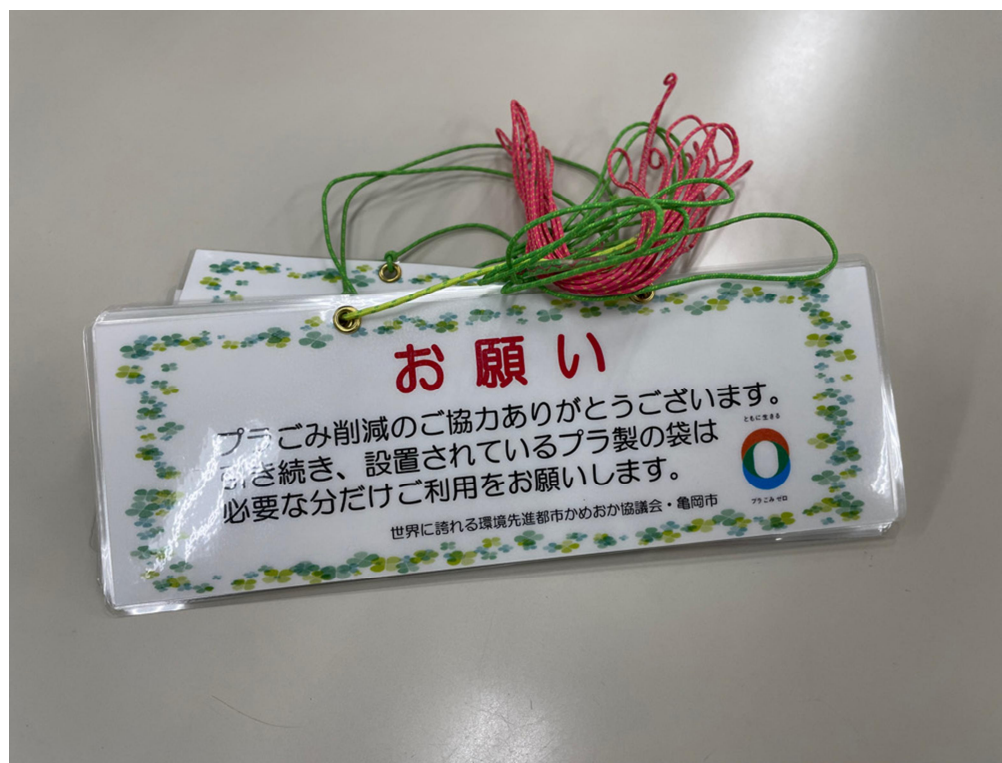
【スポGOMI亀岡市長杯】

ごみ拾いを楽しくゲーム感覚で実施できるスポGOMIを実施。
当日は過去最多の42チーム(126名)が出演。

サッカー台のプラスチック製袋適量利用の呼びかけについて

小売業者のサッカー台に設置してあるプラスチック製袋の適量利用を呼びかけ、プラスチックごみ削減の意識醸成を図りました。

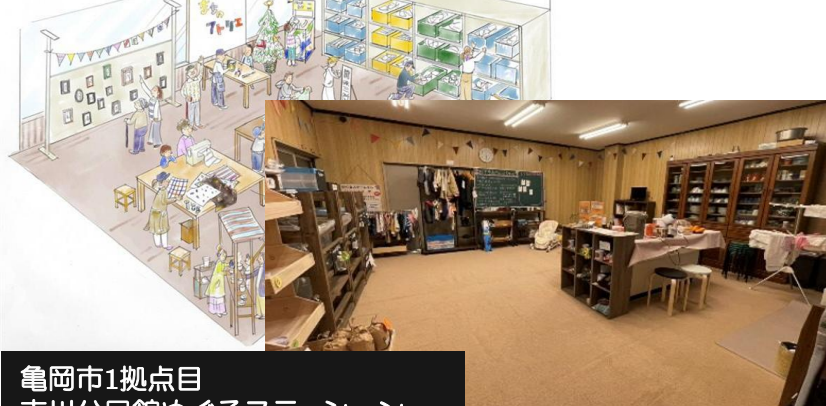
初年度(R7)は協同組合亀岡ショッピングセンター（アミティー）、アルプラザ亀岡に賛同いただき実施。



めぐるステーション(吉川町自治会)の開設について

●MEGURU STATIONとは

住民の余剰を引き出すことをきっかけに、関係性が増幅する、地域の新しい拠点。



亀岡市1拠点目
吉川公民館めぐるステーション

- 地域コミュニティの衰退や自治会活動への参加者の偏り、多世代交流の不足が課題
- 吉川公民館の炊事場を活用し、住民の来場・交流のきっかけづくりの場を整備
- 2026年1月25日に開設

●4つの基本機能

利用する中で、住民がそれぞれの関わり代をこの場で見出しています。

コミュニティスペース

コーヒーを飲んだり、子どもが遊べる場があることで、滞在・会話きっかけが生まれます

おすそわけスペース

まだ使えて、誰かの役に立つものを、譲るということだけでなく、気持ちの循環も生み出します。

マルシェボックススペース

地元野菜や住民の趣味、特技を生かした作品の販売等を通じて、多様な住民の役割を生み出します。

資源回収スペース

資源出しが習慣化することで、定期的・継続的な来場につながります。売却益は地域の活動へ。

●吉川公民館めぐるステーション 利用状況

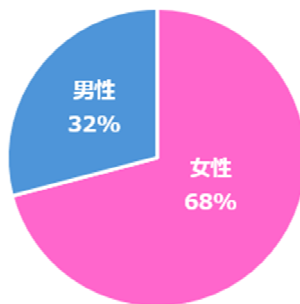
【基本情報】※4/27時点

吉川町民利用者数(ユニーク) : 134人 (人口 681人)

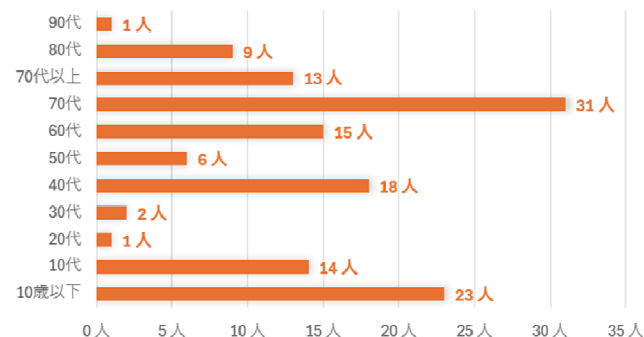
吉川町民利用者数(延べ) : 704人

【属性情報】※4/27時点

男女比



年代構成



●住民のニーズ・得意を「役割や出番」へ

基本機能を通して住民の「得意」や「ニーズ」を汲み取り、「役割」へとつながるサポートをおこない、継続的な通いの場へと育む。

事例①子ども駄菓子屋の開催

30-40代/女性

- 土日に家族以外の大人の目があるところで子どもを遊ばせたい&ふらっと立ち寄れる場所がほしい
- 子どもが買い物ができる場所がほしい



事例②編み物教室からご飯会へ

80代女性

- マルシェボックスにamiものを出品したことをきっかけに編み物教室を開催
- より多世代が参加できる企画をしたい想いから、ご飯会に発展



第4回かめおか環境賞について

令和7年11月3日、亀岡市自治振興式典と併せて、亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例に基づき第4回かめおか環境賞を表彰しました。



受賞者

タイガー魔法瓶株式会社

一般社団法人SocialInnovation Japan

【参考：過去受賞者】

イオンリテール株式会社、亀岡商業協同組合、亀岡市商店街連盟、協同組合亀岡ショッピングセンター
有限会社空海コーポレーション、日本マクドナルド株式会社、株式会社ハートフレンド
特定非営利活動法人プロジェクト保津川、株式会社平和堂、保津川遊船企業組合、株式会社マツモト
株式会社やまむらや、ソフトバンク株式会社、第一生命株式会社京都総合支社亀岡中央営業オフィス
日本紙業有限会社、BRITA Japan株式会社、株式会社カインズ

情報発信事業

➤ Hawaiian WAI KULA Days

開催日:2025年5月10日~11日

開催場所:鶴見緑地公園ハナミズキホール(大阪市)

➤ リペアカフェinイオンモール京都桂川

開催日:2025年9月20日~21日

開催場所:イオンモール京都桂川

➤ アースデイ in 京都 2025

開催日:2025年6月14日~15日※出展は14日のみ

開催場所:岡崎公園(京都市)

⇒悪天候のためイベントが中止

➤ 市内小学校への出前授業

「プラごみ0」を主なテーマに依頼のあった4校で実施

(亀岡小学校・安詳小学校・詳徳小学校・つつじヶ丘小学校)

➤ 全国からの視察

14件(149人)を対応

(例)奄美市議会、喜多方市議会、マレーシアセランゴール州、ASEAN・・・



2030年に向けた取り組み事例

ゼロエミッションの実現に向けて ～プラスチック資源の循環(2024.6)～

家庭から排出されたプラスチックを素材の一部に配合したごみ袋が完成し、資源循環が実現



プラスチックごみ



指定ごみ袋



- ▶ 素 材 ポリエチレン
- ▶ 配合率 10%
- ▶ サイズ(1枚単価)
 - ・燃やすしかないごみ
10ℓ (10円)/20 ℓ (20円)
30ℓ (30円)/40 ℓ (40円)
 - ・埋立てるしかないごみ
15ℓ (15円)/30 ℓ (30円)

2030年に向けた企業との取り組み事例

いろり文庫～循環型社会形成及び地域交流促進への貢献～



＝ 本でつながる思い出のリレー

いろり文庫とは？

「本の交換」から「資源の循環」と「人と人のつながり」をつくり出すことを目指し、京都芸術大学の学生が2024年5月から、自宅前に無人の交換型図書館を始めました。現在までに、全国6店舗を展開しています。



使いかた とってもかんたん！

1 _____ 2 _____ 3 _____

じぶんの本を 1冊入れる きになる本を 1冊もらう 交換完了！
またきてね



【コンセプト】

- ①書籍を介した市民の新たな交流創出と地域コミュニティの活性化につなげる
- ②書籍廃棄の削減と読書文化の衰退に対する「本」という文化基盤の価値再確認

【プロモーションセンターでの設置】

かめおか霧の芸術祭により空間プロデュースされたアップサイクル本棚を設置

2030年に向けた企業との取り組み事例

企業とともに～サーキュラーエコノミーの構築に向けて～



【取組の概要】

- ①不要になった園芸用土を回収
- ②集めた土を園芸用土メーカーに引き渡し
- ③焼成、殺菌し、新規園芸用土に配合
- ④地球にやさしい「循環培養土」誕生

【回収方法】

- ①苗ポット、石等、園芸用土以外のものを取り除く
- ②園芸用土の入っていた空袋にいれる
※カインズ以外で購入した園芸用土でもOK
- ③園芸売場の屋外レジへ持参する

- ・第12回グッドライフアワード(主催:環境省)「実行委員会特別賞」受賞
- ・2025年グッドデザイン賞受賞
- ・第26回グリーン購入大賞受賞
- ・亀岡モデルとして、全国150店舗で1,700袋販売

取組をスタートした2023年1月からの2025年12月末までの間に約68トンの園芸用土を回収しました！

2030年に向けた企業との取り組み事例

企業とともに～サーキュラーエコノミーの構築に向けて～



【取組の概要】

- ①使用済みの食用油を回収
- ②集まった廃食油を植田油脂が回収
- ③不純物等を取り除きエネオスに引き渡し
- ④SAF(持続可能な航空燃料)やC-FUEL(バイオディーゼル燃料)に再資源化

【回収の流れ】

- ①専用ボトルを受け取る
- ②使用済みの食用油を入れる
- ③回収拠点の回収BOXに入れる

【ボトル配布、回収拠点】

- ・マツモト荒塚店
- ・アミティ
- ・亀岡市役所(1階9番窓口前)
- ・Circular Kameoka Lab

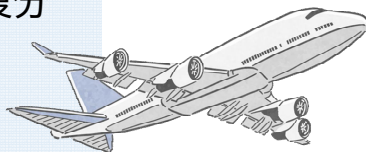
2024年10月の回収スタートから、2026年3月まで10,877本(8,434ℓ)の廃食油を回収！

これは関西国際空港から羽田空港1往復分を超える燃料に相当する。

<参考>

関西国際空港～羽田空港(往復)

約8,000本 ※SAF10%混合ジェット燃料



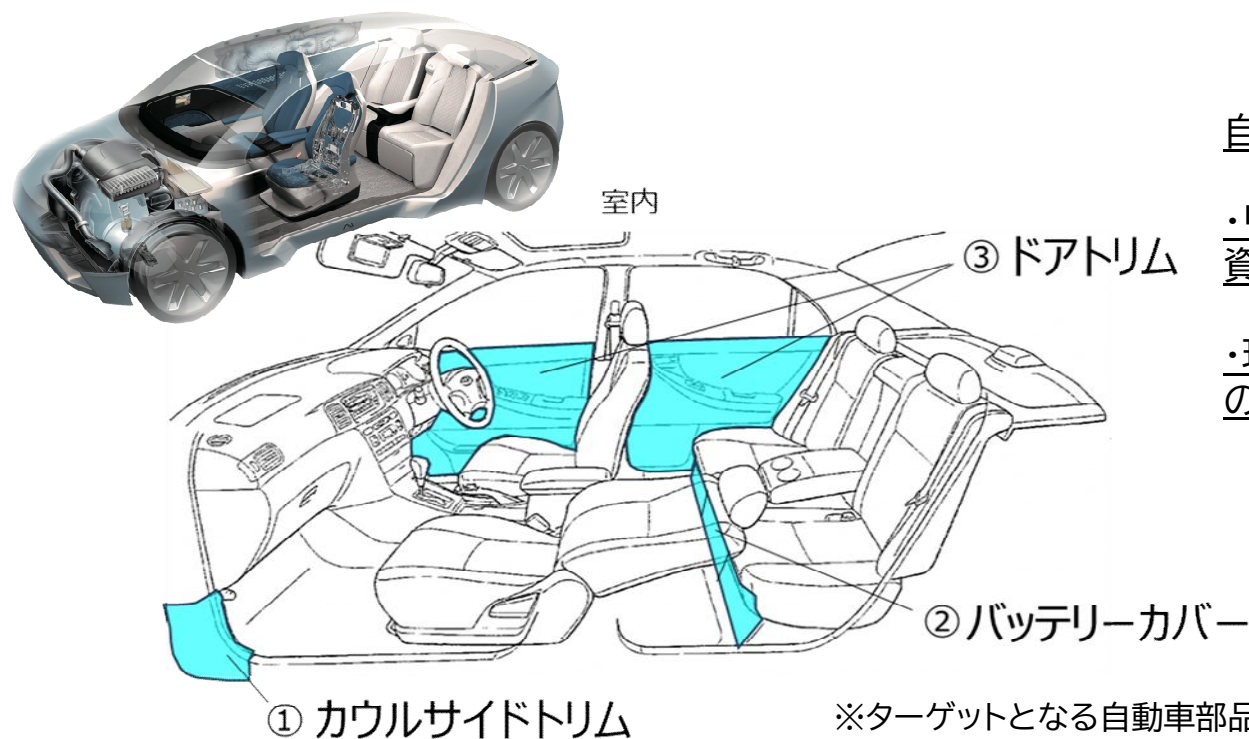
2030年に向けた企業との取り組み事例

ゼロエミッションの実現に向けて ～プラスチック資源の循環(2025.7)～

家庭から排出されたプラスチックを素材の一部に配合した自動車内装部品へのリサイクル実証

取り組みの目標:自動車部品の**要求性能を確保し**、2030年の**市販車**への**部品実装**を目指す。

<想定している自動車部品の例>



自治体・静脈・動脈が連携して

・リサイクルPPの価値を高め、
資源の国内循環を促す

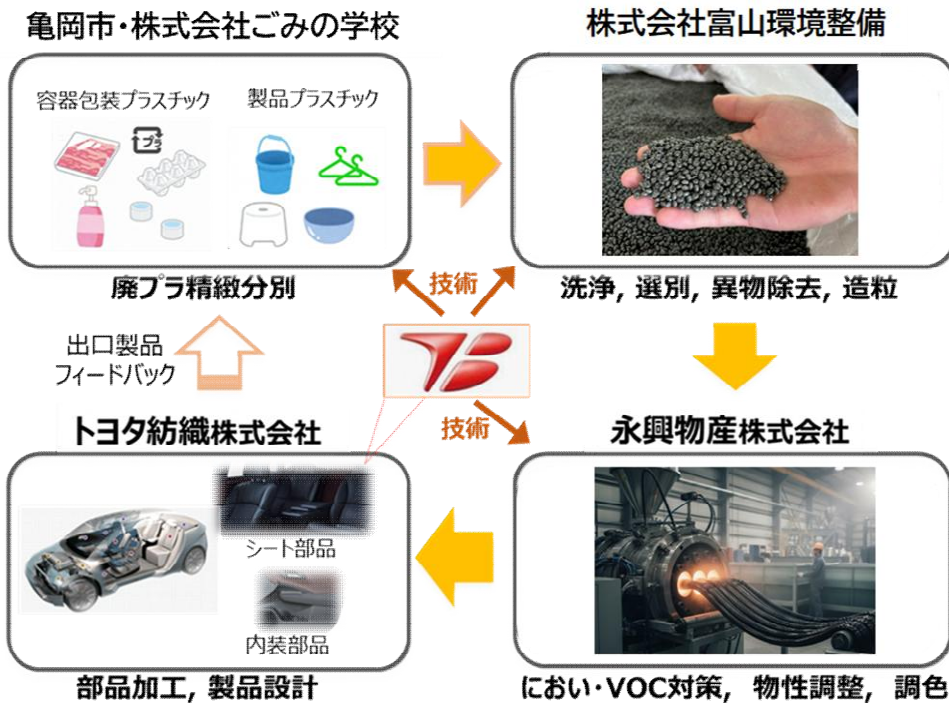
・現行のPCR材と自動車内装部品
の要求性能のギャップを埋める

※ターゲットとなる自動車部品は現時点では確定していません。

2030年に向けた企業との取り組み事例

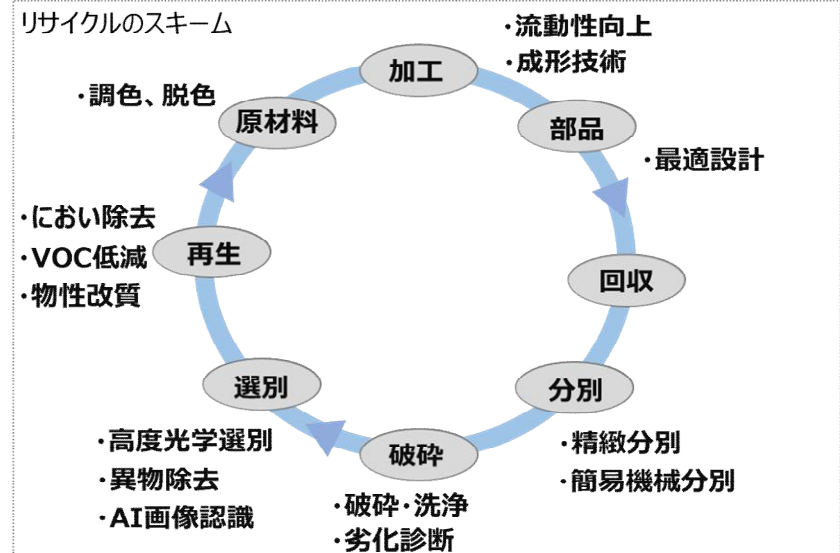
官民連携で実現! 資源循環の取組

～欧州ELV規制に向けた自治体・動静脈連携～

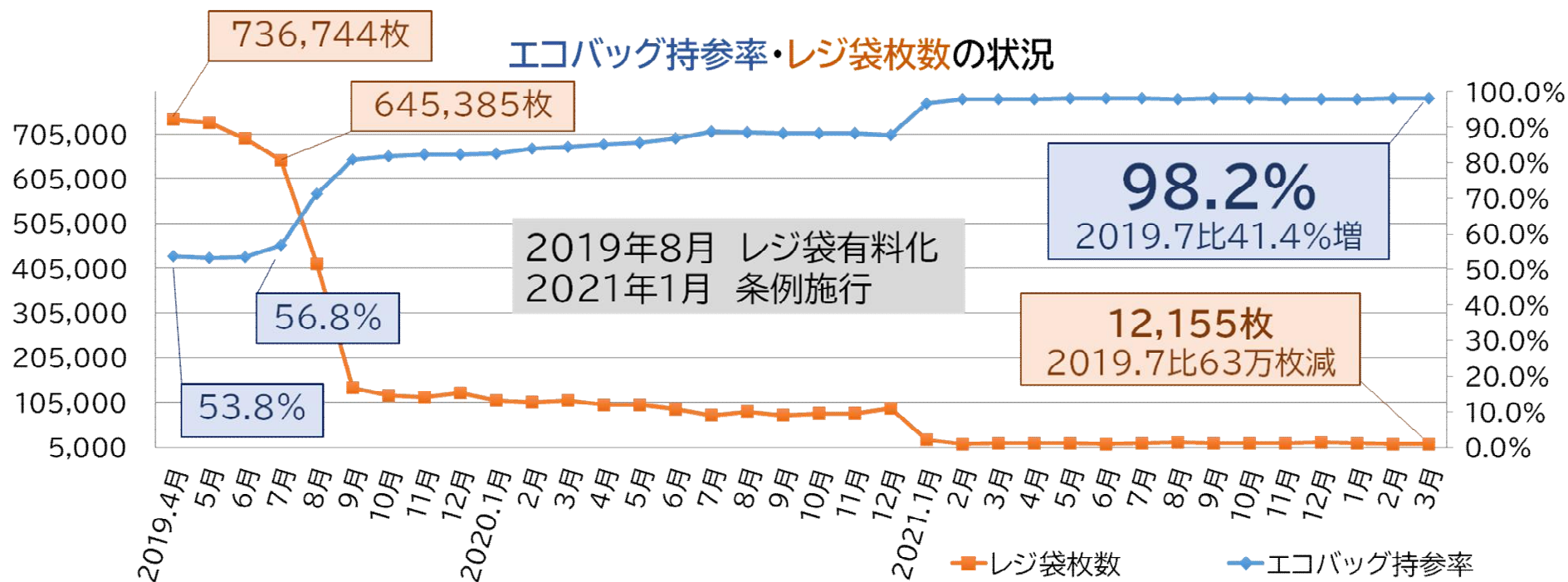


本事業で解決を目指す
リサイクルスキーム実現のための技術課題

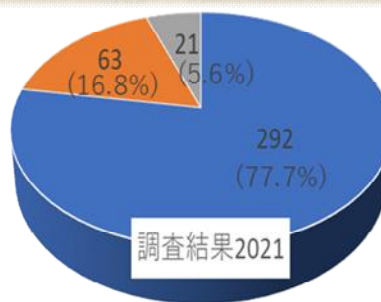
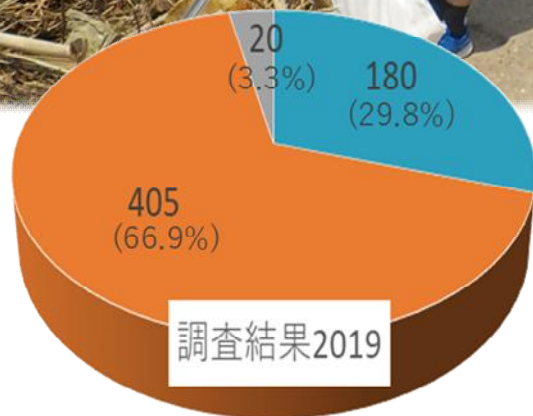
リサイクルのスキーム



プラ製レジ袋提供禁止条例がもたらした効果



プラ製レジ袋提供禁止条例がもたらした効果



■ ペットボトル ■ レジ袋 ■ カップ型飲料容器



令和8年度の取組について（予定）

- 環境プロモーションセンター
「めぐるひろばプロジェクト」の継続実施
- めぐるステーションの増設
- 第5回かめおか環境賞について
- 情報発信事業について

亀岡市環境プロモーションセンター今後の運営について

【常設展示】

- 環境施策の紹介パネル
- 環境施策に関する動画放映
- アユモドキ



【めぐるひろばプロジェクト】

- 毎月8日 「まだ使えるモノ」を次の人へ繋ぐ
「めぐる環（わ）物々交換市」
- 毎月18日 サステナビリティの重要性を体感する
「グリーンラーニングプログラム」
- 毎月28日 モノを修理する体験を通じ「物を大切にする」想いを育む
「リペアカフェ」

めぐるステーションの増設について



「環境」からはじまる人・もの・情報(思い)が地域でめぐる拠点づくりを目指してめぐるステーションの市内増設を目指します。

現在1か所(吉川町自治会)



R8年度中にさらに8か所増設を目標とします。



第5回かめおか環境賞

■対象

下記のいずれかの活動に該当する市民、事業者及び事業所を募集します。

- ・ 亀岡市の「プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」の趣旨に沿った事業を展開し、その取組に大きく貢献している
- ・ 「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現に向けた活動を積極的に行っている
- ・ 経済の発展と地球環境との共生に寄与している
- ・ 持続可能な社会の実現に向けて高い環境理念や行動計画を有し、SDGs達成に向けて取り組んでいる
- ・ 独創性、先導性がある
- ・ 模範となり得る先進的な活動で地球規模の環境保全に貢献している
- ・ 技術・製品開発で顕著な環境改善効果が期待できる
- ・ 産学官の連携や異業種間のクラスター化などで主導力を発揮している
- ・ 地域や社会との環境コミュニケーションの構築に積極的な役割を果たしている

■スケジュール

- 6月 市民公募（SNS、ホームページ）
- 7月 事務局による書類審査（1次審査）
- 8月 選考部会による選定（2次審査）
- 9月 市長による表彰者の決定（3次審査）
- 11月 亀岡市自治振興式典において表彰

■選考部会

- ・ NPO法人プロジェクト保津川
- ・ NPO法人亀岡子育てネットワーク
- ・ 亀岡市商工会議所
- ・ 亀岡市自治会連合会（2年ごとに4町で輪番）
- ・ 亀岡市

➤ 環境Day(全国都市緑化フェアin京都丹波)

開催日:2026年10月3日(土)、4日(日)

開催場所:京都・亀岡保津川公園(JR亀岡駅北側周辺)

➤ アースデイin京都2026

開催日:2026年5月16日(土)

開催場所:岡崎公園(京都市)

➤ 出前授業・視察の受け入れ(随時)



アースデイ2024年出展時の様子